

経営体の概要

- ・所在地:岩手県岩手町
- ・経営体名:酪農専業（経産牛頭数97頭）
- ・栽培作物・作付面積:牧草 50ha 飼料用トウモロコシ14ha
- ・従業員数:家族2名 雇用5名（正規4名、パート1名）
（令和6年5月現在）

導入技術

- ・飼養管理PCソフト（VMAP-3）
- ・自動給餌機（（株）オリオン製）
- ・キャリロボ（（株）オリオン製）
- ・分娩監視システム（（株）リモート製）
- ・監視用webカメラ（市販防犯カメラ）



キャリロボ



自動給餌機



監視カメラ

導入経緯

- 規模拡大と省力化のために、クラスター事業にて牛舎を新築。自動給餌機、キャリロボを導入した（平成29年度）。
- 分娩事故を減らすため、分娩監視システム、カメラを導入した。

取組の特徴・効果

- PCソフトからリアルタイムで乳量や乳質データ等を確認搾乳・給餌・繁殖管理に活用、個体乳量が増加した。
（導入前32kg/日 → 導入後33kg/日）
- キャリロボ導入により、搾乳時の労力軽減につながった。
（導入前 40頭 1.5時間 → 導入後 84頭 2.2時間）
- 給餌の自動化により給餌にかかる時間が減少した。
（導入前 40頭 4時間 → 導入後 84頭 2時間）
- 分娩監視システム、カメラの活用により分娩事故が減少した。
（分娩事故数 システム導入前 3頭 → システム導入後 0頭）
- 夜間の分娩での飼養者の精神的・労力的負担も減少した。
- 牛舎内の作業の省力化により、1.5倍の労働人数で飼養頭数を2倍に拡大した。
- 今後の展開
 - ・従業員、作業機械の有効活用を図るためにも、将来的にコントラクタの設立を検討している。
 - ・後継者を含め酪農に携わる若手との交流を深め、次世代の育成を支援して行く。